

ASEAN・インド月報

(2016年2月)

【目次】

■ASEAN・インドのマクロ経済動向	
インドネシア	1
マレーシア	2
フィリピン	3
シンガポール	4
タイ	5
ベトナム	6
インド	7
■アジア主要国・地域の主要経済指標（国・地域別）	8
■アジア主要国・地域の主要経済指標比較	13

経済調査室

1. インドネシア

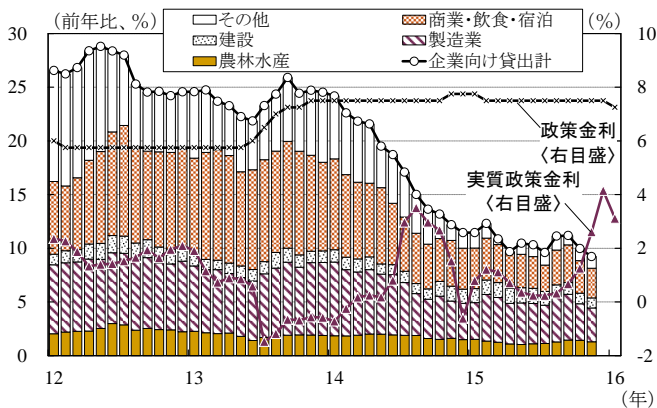
消費者物価上昇率が6年ぶりの低水準に止まるなかで高まる追加利下げ期待

1月14日、インドネシア中銀は政策金利であるBIレートを7.50%から7.25%へ、0.25%ポイント引き下げた。利下げは2015年2月以来、11ヵ月ぶりとなる。中銀は、燃料補助金引き上げによる物価上昇圧力が剥落し、インフレ率が落ち着きを見せ始めた昨年11月の会合で預金準備率の引き下げを通じて金融緩和姿勢に転じていたが、近いうちに予想される米国の利上げの影響を見極めたいとし、政策金利であるBIレートは11月と12月の会合でも据え置いたままだった。2015年12月の米利上げの後、2016年に入ってから中国経済に対する不安感の高まりや一段の原油安を受けてグローバルな金融市場は不安定な状態にあるが、インドネシアルピアは概ね底堅さを保っており、インフレ鈍化に伴う政策金利の引き下げ、それによる国内景気の下支えが可能になった。インドネシアの企業向け貸出は国内投資の伸び悩みや過去の金利上昇による資金調達コスト高、国内の流動性逼迫等を背景に、業種を問わず伸び悩みが顕著になっている。今回の利下げ後も実質金利は過去数年のピーク付近に高止まりしており、金融市場や為替相場の動向を慎重に見ながら中銀は追加利下げを探る展開となろう。

2015年10-12月期の外国直接投資は2年ぶりの高い伸び

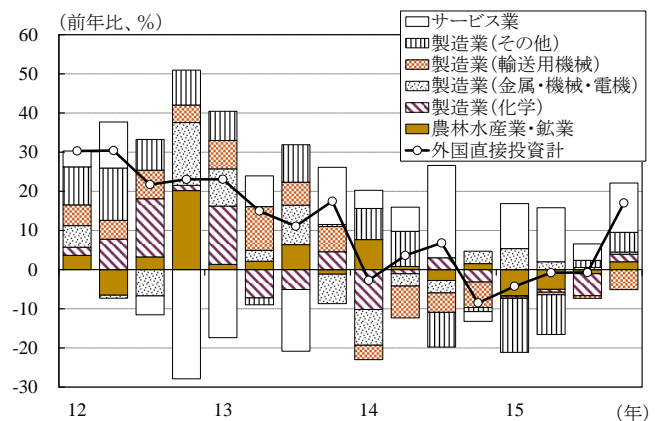
インドネシア投資調整庁が発表した2015年10-12月期の外国直接投資は79.4億ドル、前年比+17.0%と、2年ぶりの高い伸びとなった。資源安や規制強化を受けた鉱業分野への投資縮小や、製造業の大型投資一服、景気減速による外国企業の様子見姿勢の強まり等を背景に、外国直接投資は2014年10-12月期以降前年割れが続いてきたが、漸く増加に転じた。業種別には、販売低迷や輸入コスト上昇等で景況感の悪化が目立つ輸送用機械こそ8四半期連続のマイナスとなったが、運輸・通信や不動産・ビジネスサービスを中心にサービス業が高い伸びを維持、化学・金属関連の製造業、鉱業等向けの投資も底堅さを示した。国内の民間投資が冷え込む中、外国直接投資が回復してきたことは、政府歳出の拡大に伴う公共投資の増加と合わせて景気の好材料である。

第1図：政策金利と業種別企業向け貸出



(注)『実質政策金利』=『政策金利』-『消費者物価上昇率』
 (資料)インドネシア中央銀行統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：業種別に見た外国直接投資



(資料)インドネシア投資調整庁統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

2. マレーシア

11月の鉱工業生産指数は前年比+1.8%へ小幅鈍化

11月の鉱工業生産指数は、前年比+1.8%と10月の同+4.2%から減速した。製造業が同+4.0%と10月の同+6.2%から鈍化したことに加え、鉱業が天然ガス生産の落ち込みによって10月の同▲1.4%から同▲4.1%へマイナス幅が拡大した。製造業の内訳をみると、石油・化学・ゴム・プラスチック製品（同▲1.1%）は2014年7月以来の落ち込み幅を記録した。一方、主力の電機・電子が同+9.3%と前月からは幾分鈍化しつつも好調をキープしたほか、輸送機器（同+8.4%）は大きく加速。さらに、非金属鉱物・基礎金属や木材製品・家具・紙製品・印刷物も底堅い伸びを続けている。

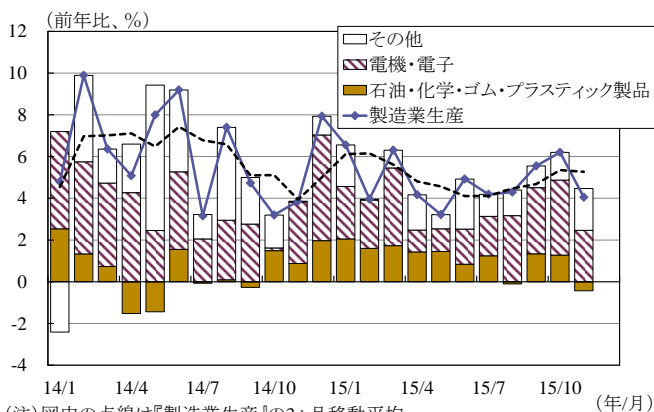
総じて見れば、これまで同様、通貨安による輸出競争力の改善や資源安によるコスト減の影響を受けやすい業種を中心に底堅さを保つ構図が続いていると言えるだろう。

11月の輸出（リングギット換算額）は前年比+6.3%と前月から減速も堅調維持

11月の輸出金額（リングギット換算額）は前年比+6.3%と急増を示した10月の同+16.7%からは減速したものの、引き続き堅調な伸びを示した。大幅増の反動減の影響が出た機械・電子機器は前年比+2.8%と6ヵ月ぶりの低い伸びとなった一方、鉱物性燃料やパーム油等を含む資源関連財が同+6.5%と2014年9月以来のプラスに転じた。

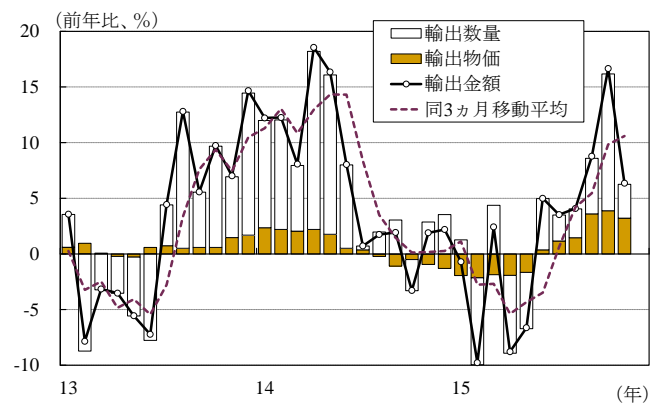
輸出先別に見ると、日本向けは一進一退の推移が続いているが、欧米向けやASEAN域内向け、中国向けともに底堅さを維持している。なお、輸出金額の変動を数量と価格の要因別に見ると、引き続き通貨安を背景とした輸出物価の上昇が輸出金額を押し上げているほか、通貨安を原資とした価格競争力の改善が数量ベースの増加にもつながっている姿が窺える。

第1図：製造業生産



(注) 図中の点線は『製造業生産』の3ヵ月移動平均。
(資料) マレーシア統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：輸出金額（リングギット換算額）の要因分解



(注) 『輸出数量』=『輸出金額』÷『輸出物価』
(資料) マレーシア統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

3. フィリピン

10-12月期の実質GDP成長率は前年比+6.3%へ加速

10-12月期の実質GDP成長率は前年比+6.3%と7-9月期（同+6.1%）から加速した。需要項目別にみると、インフレ率の低下などを支えに、GDP全体の7割を占める民間消費が同+6.4%（7-9月期：同+6.1%）と引き続き高めの伸びとなったほか、総固定資本形成が同+13.5%（同+12.4）と加速し、政府支出（同+17.4%）も前期に引き続き高めの伸びを維持するなど、内需を中心に底堅く推移した。一方、外需は底堅い内需を反映して輸入が同+13.3%と二桁の伸びとなり、純輸出ではマイナス寄与となった。

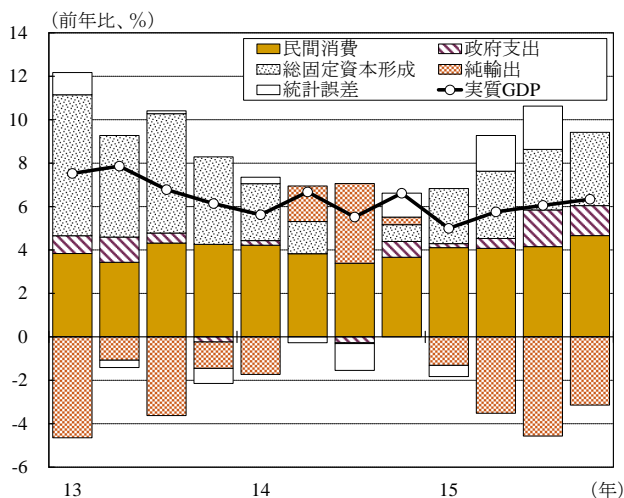
国家経済開発庁のバリサカン長官は、2015年のフィリピン経済は世界経済の先行き不透明感やエルニーニョ現象による農業への影響が懸念されるなか、内需の底堅さが雇用創出と収入向上、個人消費の拡大という好循環を生み出し、堅調に伸びたと強調した。また、2016年の成長率については同+6~7%と予想している。

11月の貿易収支は▲10億ドルの赤字

11月の輸出（ドルベース）は、前年比▲1.1%と、10月（同▲10.8%）からマイナス幅は大幅に縮小したものの、8ヵ月連続のマイナスとなった。仕向け地別には全体の2割を占める日本向けが同▲1.9%と前月（同▲7.7%）からマイナス幅が縮小したほか、全体の1割を占める米国（同+5.1%）向けがプラスに転じた。品目別には、全体の4割を占める電子製品は同+4.5%と増加した一方、農作物や鉱産物などの一次産品が同▲30.8%と大きく減少し、全体を押し下げた。

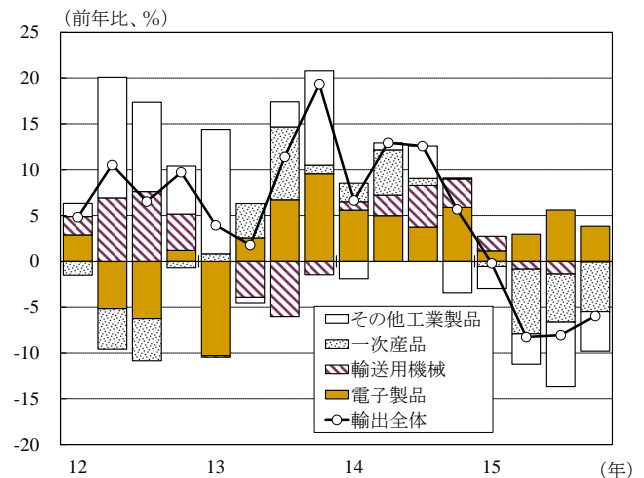
他方、輸入は消費など内需の底堅さを反映し、同+10.1%と6ヵ月連続で増加した。結果、貿易収支は▲10億ドルと6ヵ月連続で赤字となった。

第1図：実質GDP成長率



(資料)フィリピン国家統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：輸出（ドルベース）



(注)直近値は2015年10-11月期。

(資料)フィリピン国家統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

4. シンガポール

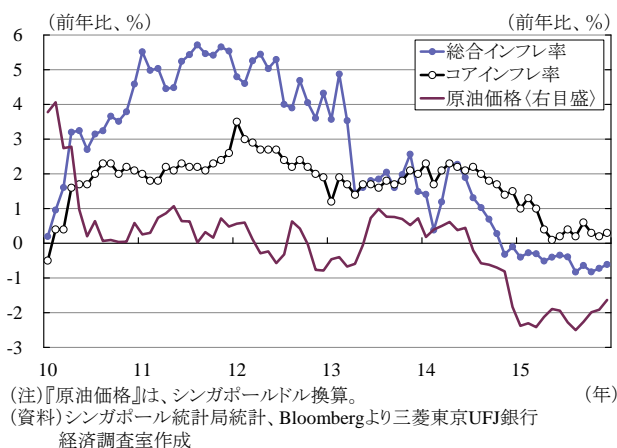
12月の消費者物価上昇率は小幅上昇も原油安の影響への警戒強まる

12月の消費者物価上昇率は前年比▲0.6%と、11月の同▲0.8%からマイナス幅が小幅ながら縮小した。ガソリン小売価格の上昇とホテルや航空運賃など休暇関連費用の上昇が主因。シンガポール通貨庁(MAS)が重視するコアインフレ率(住居費および民間交通を除く)も同+0.3%と前月の同+0.2%から僅かに加速した。2015年通年では、総合インフレ率は同▲0.5%(2014年の同+1.0%)と、2002年以来13年ぶりのマイナスとなった。コアインフレ率も同+0.5%と2014年の同+1.9%から大幅に低下。指標発表時の声明文においてMASは、2016年の総合インフレ率の見通しは維持したが、急速な原油安による物価下振れに対する警戒感を示した。直近の通貨政策レビューが行われた昨年10月、原油価格は1バレル50米ドル近傍であったが、足元30米ドル程度まで約3割の下落を示している。昨年1月、MASは原油価格の急落による物価見通しの下方修正を主因に緩やかな通貨高政策の通貨上昇ペースを緩和した。今後の原油価格の国内物価への波及如何では今後の通貨政策に影響を及ぼすものとみられる。

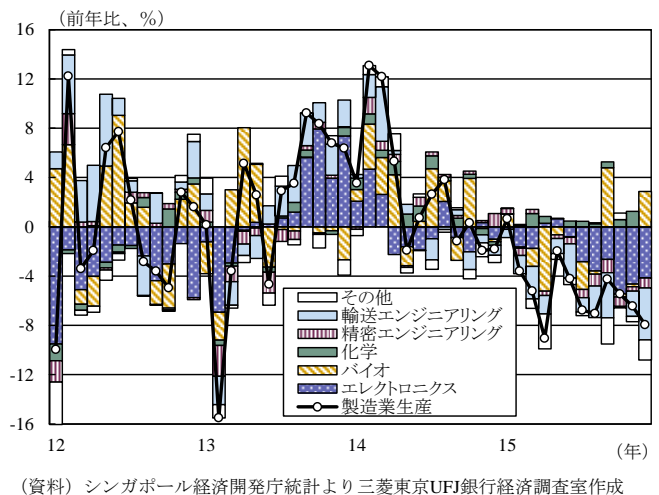
12月の製造業生産は前年比▲7.9%と減少幅が一段と拡大

12月の製造業生産高指数は、前年比▲7.9%と11月の同▲6.4%から減少幅が一段と拡大した。振れの大きいバイオは同+16.2%のプラスとなったが、その他の業種は全て前年割れとなり、バイオを除く指数は同▲13.0%(11月:同▲7.6%)と更に軟調さが際立った。主力のエレクトロニクスは同▲12.4%と二桁減が続いたほか、化学が同▲0.3%と1年ぶりに前年割れとなった。また、輸送エンジニアリングも、航空宇宙や陸上交通部門は好調だったが、比重の大きい海洋オフショアエンジニアリング部門(同▲40.3%)の大幅減により、同▲26.4%と大きく落ち込んだ。10-12月の生産は同▲6.7%と低迷が続く、2月14日に発表される10-12月期の実質GDP成長率の確報値は、10-11月の実績を基に算出される速報値の同+2.0%から下方修正される公算。

第1図：消費者物価上昇率と原油価格



第2図：製造業生産



(経済調査室 シンガポール駐在)

5. タイ

2015年の貿易黒字は346億ドルへ拡大

2015年の輸出は前年比▲5.6%と3年連続でマイナスとなった。内訳をみると、主要品目のなかでは自動車（同+2.5%）を除く略全ての品目がマイナスとなった。一方、輸入も、資源価格下落を背景とする燃料の減少や内需が勢いを欠いていることなどを背景に同▲11.3%と二桁のマイナスとなった。結果、2015年の貿易黒字は、輸出以上の輸入の落ち込みにより2014年から拡大し、346億ドルとなった。

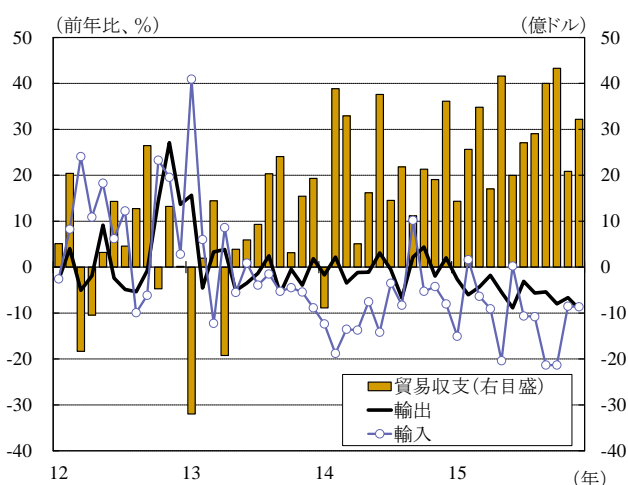
貿易黒字の拡大は、輸出不振が起点となり、内需への波及による輸入減少が反映された結果とみられる。2016年の輸出の見通しについて、商務省のソムキアット事務局長は、年初からプラスに回復し、通年で前年比+5%に達すると予測している。

12月の製造業生産指数は前年比+1.3%と2ヵ月連続のプラス

12月の製造業生産指数は前年比+1.3%と11月に続き2ヵ月連続のプラスとなった。品目別にみると、世界需要の伸び悩みを背景にHDDなどの計算機器・PCが同▲22.4%と、10ヵ月連続での二桁減となったほか、世界的な価格下落を背景に鉄鋼などの金属（同▲3.8%）もマイナスが続いている。一方、石油・燃料（同+2.2%）や化学（同+5.6%）、輸送機械（同+14.7%）は前月に続きプラスとなった。

全体の生産が前年比プラスを維持した主因として、関連部品を含めると生産全体の2割を占める自動車（=輸送機械）生産の増加が挙げられる。これは、昨年7月以降前年比プラスが続く輸出向け自動車生産の増加に因るところが大きい。但し、2016年1月からの物品税改定前の駆け込みなどを背景に、国内新車販売台数が昨年11月に約2年半ぶりの前年比プラスとなるなど、国内向け自動車生産の増加が全体を押し上げた効果については一部割り引いてみる必要があるだろう。

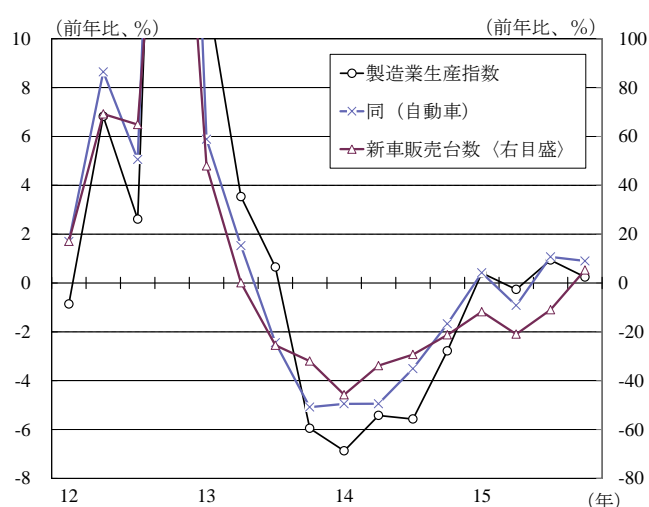
第1図：貿易収支



(注) USD建て、国際収支ベース。

(資料) タイ中央銀行統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：製造業生産指数



(資料) タイ工業省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

6. ベトナム

2015年の小売売上高は前年比+9.9%の増加

2015年の小売売上高は3,243兆ドンと、前年比+9.9%の増加となった。伸び率は2014年（同+12.9%）から鈍化したものの、消費者物価上昇率を用いて実質化してみると、2015年は2014年に比べインフレ率が鈍化したこともあり、実質ベースの小売上の伸びは加速している。小売売上高の増加の要因としては、最低賃金の引き上げなどを背景とする家計の平均所得の上昇が挙げられる。

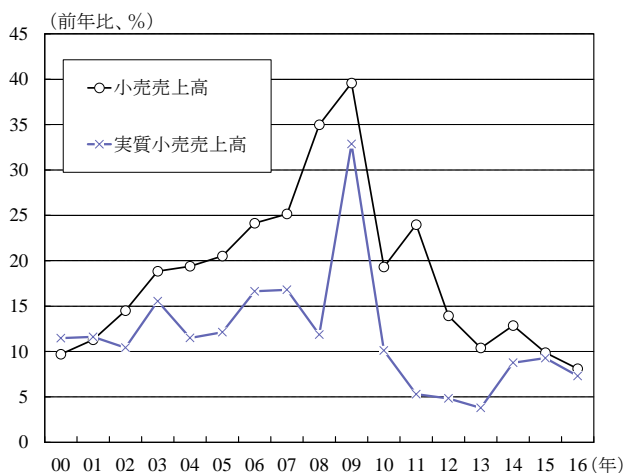
また、単月ベースでみると、直近2016年1月は298兆ドン、前年比+8.1%と2015年12月（同+8.0%）から加速し、引き続き好調に推移している。統計総局によれば、旧正月を前に小売各社が商戦を展開していることが小売売上高増加の背景と説明している。今後も低インフレ率や雇用の安定などが小売の支えとなりそうだ。

1月の消費者物価上昇率は前年比+0.8%と3ヵ月連続で加速

1月の消費者物価上昇率は、前年比+0.8%と3ヵ月連続で加速したが、水準は2014年の同+4.1%より低く、2015年の同+0.6%近辺で依然低位の推移が続いている。品目別にみると、原油価格の下落に伴うタクシー料金の値下げなどといった交通（同▲7.7%）の下落が主因となっている。また、輸送コストの低下を反映し、食品類（同+1.0%）の伸びも低位で推移している。他方、医療・保健（同+1.7%）や政府が価格を設定している教育（同+3.3%）は相対的に高い伸びが続いている。

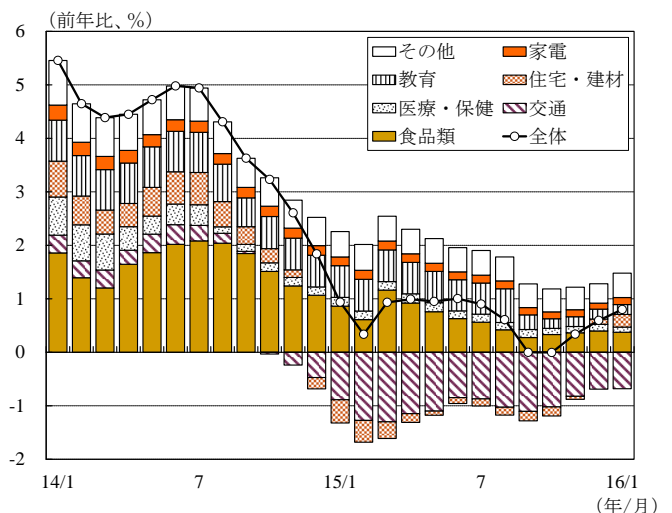
統計局は、2016年の物価について、授業料や医療費の引き上げに加え、最低賃金の上昇、電気料金の値上げなどの要因が物価上昇に影響するとしている。但し、原油価格の下落が続くなか、インフレ率の急加速は見込み難く、当面、低インフレ率が実質所得の改善を通じて消費を中心に内需の下支えとなる公算が大きい。

第1図：小売売上高



(注)2016年は1月の値。実質小売売上高は消費者物価上昇率を用いて実質化。
(資料)ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：消費者物価上昇率



(資料)ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

7. インド

12月の消費者物価上昇率は前年比+5.6%と緩やかな加速が継続

12月の消費者物価上昇率は前年比+5.6%と前月の同+5.4%からやや加速し、2014年9月以来、1年3ヵ月ぶりの高い伸びを示した。食品・飲料が同+6.3%（11月は同+6.1%）へと加速したことが主因となった。食品・飲料の内訳を見ると、豆・同製品（同+45.9%）や香辛料（+10.8%）、油脂（+7.1%）等が顕著な上昇を示しているほか、野菜（同+4.6%）も緩やかに伸びを高めている。

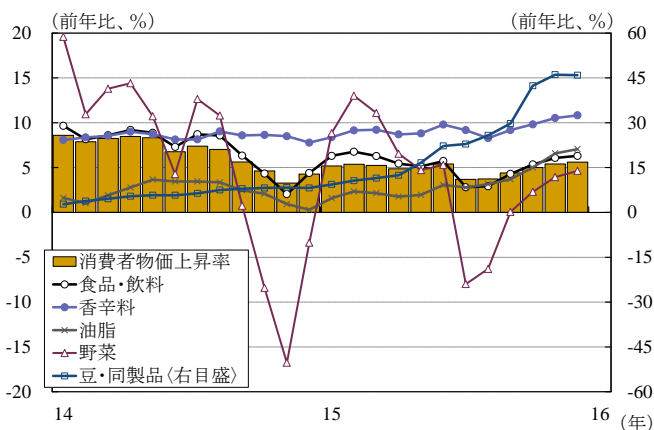
2015年通年の消費者物価上昇率は同+4.9%と、2013年の同+10.1%、2014年の同+6.7%から一段と低下したが、これは政府の価格統制強化や天候要因を背景とした食品価格の落ち着きによるところが大きい。他方、農業部門向けの投資や生産が目立って拡大している訳ではなく、天候要因等をきっかけに供給不足が生じれば、食品価格が急上昇し、これまで景気回復を支えてきた家計の購買力を圧迫する可能性が十分に残る。足元のインフレ率は未だ落ち着いた水準にあるが、引き続き食品価格の動向には注意が必要だ。

12月の貿易収支は▲116.6億ドルと赤字幅が拡大

12月の貿易収支は▲116.6億ドルと、11月の▲104.7億ドルや2014年12月の▲91.8億ドルから赤字幅が拡大した。輸出のマイナス幅が11月の前年比▲27.2%から同▲14.7%へと縮小した一方で、輸入も同▲3.9%（11月は同▲30.4%）と輸出を上回る減少ピッチの縮小を見せたことが、貿易収支の赤字幅の拡大に繋がった。

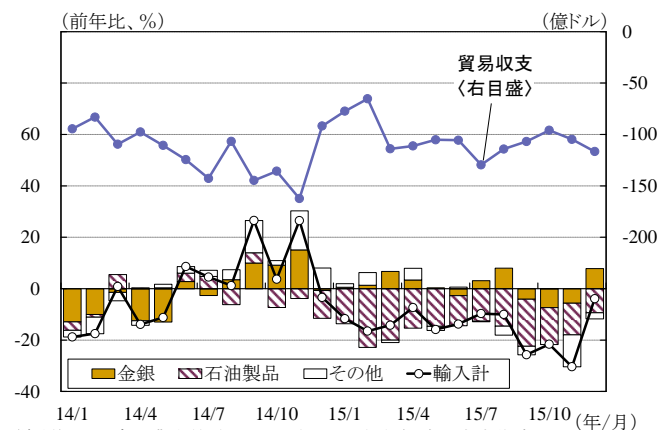
輸出が大きく落ち込むなかでも輸入の縮小が貿易収支の改善をもたらしてきたが、その大部分は資源安に伴う原油輸入の縮小によるものである。一方、金銀輸入は12月に4ヵ月ぶりの増加に転じたほか、その他の財の輸入額も略前年並みで推移している。原油価格は年初に再び大きく下落したものの、足元30ドル前後まで落ち込む中で一段の下げ余地は小さく、資源安が更なる収支改善に繋がることは期待できそうにない。このため、貿易赤字は現状程度の水準での推移が当面は続くこととなるだろう。

第1図：消費者物価上昇率



(資料)インド中央統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：貿易収支と品目別の輸入金額



(資料)インド商工業省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

■ アジア主要国・地域の主要経済指標（国・地域別）

インドネシアの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	913	889									
人口(100万人)	248.8	252.2	255.5								
1人あたりGDP(ドル)	3,670	3,523									
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.6)	(5.0)		(4.7)	(4.7)	(4.7)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(6.2)	(4.7)		(5.1)	(5.3)	(4.2)		(6.6)	(6.5)		
国内自動車販売(台) (前年比、%)	1,229,901 (10.2)	1,208,019 (▲1.8)	1,013,291 (▲16.1)	282,344 (▲14.1)	243,147 (▲22.5)	239,190 (▲17.7)	248,610 (▲9.7)	88,408 (▲16.0)	86,938 (▲4.8)	73,264 (▲7.0)	
消費者物価指数*(前年比、%)	(6.4)	(6.4)	(6.4)	(6.5)	(7.1)	(7.1)	(4.8)	(6.2)	(4.9)	(3.4)	(4.1)
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	182,552 (▲3.9)	175,980 (▲3.6)	158,407 (▲10.0)	39,052 (▲11.8)	39,300 (▲11.7)	36,781 (▲16.2)	35,120 (▲18.8)	12,122 (▲20.7)	11,111 (▲18.0)	11,886 (▲17.7)	
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	186,629 (▲2.6)	178,179 (▲4.5)	151,793 (▲14.8)	36,731 (▲15.0)	37,218 (▲20.3)	34,040 (▲23.4)	34,751 (▲20.7)	11,109 (▲27.5)	11,520 (▲18.0)	12,122 (▲16.0)	
貿易収支(100万ドル)	▲4,077	▲2,199	6,613	2,321	2,082	2,741	369	1,013	▲408	▲236	
経常収支(100万ドル)	▲29,109	▲27,516		▲4,178	▲4,250	▲4,011					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	96,364	108,836	103,268	108,571	105,084	98,876	103,268	97,836	97,584	103,268	
BI(政策)金利◎	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.25
為替(ルピア/ドル)*	10,438	11,881	13,398	12,805	13,127	13,863	13,766	13,775	13,679	13,845	13,887
株価指数◎	4,274.2	5,226.9	4,593.0	5,518.7	4,910.7	4,223.9	4,593.0	4,455.2	4,446.5	4,593.0	4,615.2

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)インドネシア中央銀行、CEIC、Bloombergなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

マレーシアの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	323	338									
人口(100万人)	29.9	30.6	31.0								
1人あたりGDP(ドル)	10,809	11,050									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.7)	(6.0)		(5.6)	(4.9)	(4.7)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.4)	(5.1)		(6.5)	(4.3)	(4.5)		(4.2)	(1.8)		
自動車販売台数(台) (前年比、%)	655,793 (4.5)	666,487 (1.6)	666,674 (0.0)	168,306 (5.2)	153,878 (▲11.2)	163,204 (2.5)	181,286 (4.1)	55,793 (3.0)	56,092 (1.4)	69,401 (7.3)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.1)	(3.1)	(2.1)	(0.7)	(2.2)	(3.0)		(2.5)	(2.6)		
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	228,343 (0.3)	233,946 (2.5)		50,594 (▲11.2)	50,578 (▲14.8)	49,281 (▲17.0)		17,815 (▲10.4)	15,674 (▲17.5)		
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	205,906 (4.8)	208,868 (1.4)		44,701 (▲8.7)	45,025 (▲16.2)	43,908 (▲18.8)		14,956 (▲23.5)	13,302 (▲15.3)		
貿易収支(100万ドル)	22,437	25,078		5,892	5,553	5,373		2,859	2,372		
経常収支(100万ドル)	11,205	14,473		2,754	2,072	1,247					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	133,444	114,621	93,979	103,703	104,097	92,009	93,979	92,693	93,168	93,979	
銀行間3カ月金利(%)◎	3.32	3.86	3.84	3.73	3.69	3.74	3.84	3.74	3.77	3.84	3.79
為替(リンギ/ドル)*	3.150	3.273	3.907	3.620	3.659	4.058	4.283	4.255	4.315	4.280	4.340
株価指数◎	1,867.0	1,761.3	1,692.5	1,830.8	1,706.6	1,621.0	1,692.5	1,665.7	1,672.2	1,692.5	1,667.8

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。鉱工業生産指数の2012年以前は2005年基準、2013年以降は2010年基準。

(資料)マレーシア中銀、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

フィリピンの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	272	285	292								
人口(100万人)	98.2	99.9	101.6								
1人あたりGDP(ドル)	2,769	2,851	2,875								
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.1)	(6.1)	(5.8)	(5.0)	(5.8)	(6.1)	(6.3)				
製造業生産指数(前年比、%)	(13.9)	(7.3)		(5.1)	(▲0.4)	(1.7)		(1.7)	(7.5)		
国内自動車販売(台) (前年比、%)	212,682 (15.4)	270,312 (27.1)	323,210 (19.6)	62,882 (21.6)	68,583 (19.8)	74,819 (23.1)	82,325 (26.6)	28,667 (28.7)	26,979 (25.9)	26,679 (25.1)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.9)	(4.2)	(1.4)	(2.4)	(1.7)	(0.6)	(1.0)	(0.4)	(1.1)	(1.5)	
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	56,698 (8.8)	62,102 (9.5)		14,247 (▲0.2)	14,640 (▲8.3)	15,394 (▲8.1)		4,590 (▲10.8)	5,118 (▲1.1)		
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	62,411 (0.5)	65,398 (4.8)		15,700 (▲4.0)	15,024 (▲1.6)	19,276 (12.1)		6,534 (16.9)	6,095 (10.1)		
貿易収支(100万ドル)	▲5,713	▲3,296		▲1,453	▲384	▲3,882		▲1,944	▲977		
経常収支(100万ドル)	11,384	10,917		1,903	2,994	658					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	75,689	72,057	73,964	73,021	73,266	73,536	73,964	73,919	73,473	73,964	
TBレート金利◎	0.00	1.42	1.84	1.40	2.14	1.51	1.84	1.49	1.77	1.84	1.68
為替(ペソ/ドル)*	42.45	44.40	45.50	44.42	44.67	46.05	46.87	46.36	47.01	47.23	47.51
株価指数◎	5,889.8	7,230.6	6,952.1	7,940.5	7,564.5	6,894.0	6,952.1	7,134.3	6,927.1	6,952.1	6,687.6

(注)*:期中平均値、◎:期末値。国内自動車販売の四半期、月次はフィリピン自動車工業会(CAMPI)加盟分。暦年のみ自動車輸入・流通業者連合(AVID)を追加(一部重複あり)。

(資料)フィリピン国家統計局、中央銀行、IMF、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

シンガポールの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	302	308									
人口(100万人)	5.4	5.5	5.5								
1人あたりGDP(ドル)	55,980	56,287									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.4)	(2.9)	(2.1)	(2.7)	(2.0)	(1.8)	(2.0)				
製造業生産指数(前年比、%)	(1.7)	(2.7)	(▲5.2)	(▲2.9)	(▲5.1)	(▲6.0)	(▲6.7)	(▲5.5)	(▲6.4)	(▲7.9)	
実質小売売上高指数(前年比、%)	(▲4.4)	(0.3)		(3.6)	(6.4)	(5.5)		(2.6)	(4.4)		
消費者物価指数(前年比、%)	(2.4)	(1.0)	(▲0.5)	(▲0.3)	(▲0.4)	(▲0.6)	(▲0.7)	(▲0.8)	(▲0.8)	(▲0.6)	
輸出(FOB)(100万ドル)	509,191	513,248	476,285	119,092	120,221	119,039	117,934	42,407	37,175	38,351	
(前年比、%)	(0.0)	(0.8)	(▲7.2)	(▲6.0)	(▲9.0)	(▲8.0)	(▲5.7)	(▲3.3)	(▲7.6)	(▲6.4)	
輸入(CIF)(100万ドル)	466,755	463,779	407,768	98,857	104,529	103,938	100,444	34,987	32,264	33,193	
(前年比、%)	(▲1.6)	(▲0.6)	(▲12.1)	(▲16.1)	(▲13.0)	(▲9.1)	(▲9.9)	(▲12.7)	(▲5.8)	(▲10.6)	
貿易収支(100万ドル)	42,437	49,469	68,517	20,234	15,691	15,101	17,490	7,420	4,911	5,158	
経常収支(100万ドル)	67,675	74,467		27,484	23,176	23,176					
外貨準備高(除く金)(100万\$)	272,864	256,643		248,201	253,071	251,425		249,564	246,878		
SIBOR3カ月(Sドル、◎)	0.40	0.46	1.19	1.01	0.82	1.14	1.19	1.07	1.07	1.19	1.25
為替(Sドル/USドル)*	1.251	1.267	1.375	1.357	1.343	1.392	1.408	1.401	1.414	1.408	1.432
株価指数◎	3,167.4	3,365.2	2,882.7	3,447.0	3,317.3	2,790.9	2,882.7	2,998.4	2,855.9	2,882.7	2,629.1

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)シンガポール統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

タイの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	420	405									
人口(100万人)	64.8	65.1	65.7								
1人あたりGDP(ドル)	6,485	6,216									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.8)	(0.9)		(3.0)	(2.8)	(2.9)					
製造業生産指数(前年比、%)	(2.4)	(▲5.2)	(0.3)	(0.4)	(▲0.3)	(0.9)	(0.2)	(▲0.8)	(0.3)	(1.3)	
民間消費指数(前年比、%)	(1.8)	(0.7)	(1.3)	(2.3)	(▲0.6)	(0.7)	(3.0)	(2.1)	(3.5)	(3.3)	
自動車販売台数(台)	1,330,678	881,832	799,592	197,787	171,322	184,723	245,760	67,910	76,426	101,424	
(前年比、%)	(▲7.3)	(▲33.7)	(▲9.3)	(▲11.8)	(▲21.0)	(▲11.0)	(5.3)	(▲4.1)	(4.6)	(13.3)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.2)	(1.9)	(▲0.9)	(▲0.5)	(▲1.1)	(▲1.1)	(▲0.9)	(▲0.8)	(▲1.0)	(▲0.9)	(▲0.5)
失業率(%)*	0.7	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.7	
輸出(FOB)(100万ドル)	225,409	224,777	212,109	52,983	52,650	54,224	52,253	18,288	17,006	16,958	
(前年比、%)	(▲0.1)	(▲0.3)	(▲5.6)	(▲4.3)	(▲5.5)	(▲4.7)	(▲7.9)	(▲8.0)	(▲6.6)	(▲9.1)	
輸入(FOB)(100万ドル)	218,748	200,194	177,516	45,503	44,790	44,607	42,616	13,957	14,920	13,739	
(前年比、%)	(▲0.1)	(▲8.5)	(▲11.3)	(▲7.3)	(▲10.2)	(▲14.5)	(▲13.2)	(▲21.3)	(▲8.5)	(▲8.7)	
貿易収支(100万ドル)	6,661	24,583	34,593	7,480	7,860	9,616	9,637	4,331	2,086	3,220	
経常収支(100万ドル)	▲5,169	15,418	34,830	8,440	6,119	7,225	13,046	5,178	2,997	4,879	
資本収支(100万ドル)	▲2,207	▲16,389		▲2,015	▲1,787	▲7,212		▲1,510	▲2,358		
対外債務残高(100万ドル)◎	141,933	140,135		137,016	136,485	133,745		133,481	132,008		
外貨準備高(除く金)(100万\$)◎	161,328	151,253	151,266	150,467	154,476	150,020	151,266	152,645	150,418	151,266	
翌日物レボ金利(%◎)	2.25	2.00	1.50	1.75	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
為替(バツ/ドル)*	30.72	32.48	34.26	32.65	33.25	35.25	35.83	35.69	35.79	36.01	36.14
株価指数◎	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,505.9	1,504.6	1,349.0	1,288.0	1,394.9	1,359.7	1,288.0	1,301.0

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)タイ中央銀行、国家経済社会開発委員会、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

ベトナムの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	171	186	193								
人口(100万人)	89.8	90.7									
1人あたりGDP(ドル)	1,908	2,052									
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.4)	(6.0)	(6.7)	(6.1)	(6.5)	(6.8)	(7.0)				
鉱工業生産(前年比、%)	(5.9)	(7.6)	(9.8)	(9.3)	(10.2)	(10.4)	(8.9)	(8.8)	(8.9)	(9.0)	(5.9)
国内自動車販売(台) (前年比、%)	96,692 (19.9)	135,774 (40.4)	208,557 (53.6)	40,834 (68.9)	50,872 (54.0)	52,963 (50.8)	63,888 (47.1)	19,192 (44.0)	20,921 (52.8)	23,775 (44.9)	
消費者物価指数(前年比、%)	(6.6)	(4.1)	(0.6)	(0.7)	(1.0)	(0.5)	(0.3)	(0.0)	(0.3)	(0.6)	(0.8)
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	132,033 (15.3)	150,217 (13.8)	162,053 (7.9)	36,263 (9.0)	41,373 (9.3)	42,475 (9.4)	41,943 (4.4)	14,314 (1.7)	13,894 (5.0)	13,735 (6.7)	13,800 (2.9)
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	132,033 (16.0)	147,849 (12.0)	166,164 (12.4)	38,982 (19.7)	42,603 (13.7)	42,836 (11.6)	41,744 (2.1)	13,814 (▲1.8)	13,631 (6.6)	14,298 (1.9)	14,000 (1.7)
貿易収支(100万ドル)	0	2,368	▲4,111	▲2,719	▲1,230	▲361	199	500	263	▲563	▲200
経常収支(100万ドル)	7,745	9,508		▲1,022	1,267						
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	25,894	34,189		36,911	37,334	30,652					
リファイナンスレート◎	7.00	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
政策金利◎	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
為替(ドン/ドル)*	21,030	21,199	21,923	21,383	21,713	22,150	22,429	22,351	22,429	22,503	22,407
株価指数◎	504.63	545.63	579.03	551.13	593.05	562.64	579.03	607.37	573.20	579.03	545.25

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)ベトナム統計総局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

インドの主要経済指標

	12年度	13年度	14年度	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	1,703	1,733	1,914								
人口(100万人)	1,235	1,251	1,267								
1人あたりGDP(ドル)	1,379	1,386	1,511								
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.1)	(6.9)	(7.3)	(7.5)	(7.0)	(7.4)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(1.1)	(▲0.1)	(2.8)	(3.4)	(3.3)	(4.8)		(9.9)	(▲3.2)		
乗用車販売台数(台) (前年比、%)	2,665,015 (1.4)	2,507,202 (▲5.9)	2,600,831 (3.7)	706,179 (4.0)	653,262 (6.2)	677,011 (6.3)	736,253 (14.6)	268,629 (21.5)	236,664 (11.4)	230,960 (10.5)	
卸売物価指数(前年比、%)	(7.4)	(6.0)	(2.0)	(▲1.8)	(▲2.3)	(▲4.6)	(▲2.2)	(▲3.7)	(▲2.0)	(▲0.7)	
消費者物価指数(前年比、%)	(9.9)	(9.4)	(6.0)	(5.3)	(5.1)	(3.9)	(5.3)	(5.0)	(5.4)	(5.6)	
輸出(100万ドル) (前年比、%)	300,401 (▲1.8)	314,416 (4.7)	309,881 (▲1.4)	69,979 (▲15.3)	66,896 (▲16.3)	67,059 (▲17.7)	62,922 (▲19.9)	21,350 (▲17.5)	19,274 (▲27.2)	22,297 (▲14.7)	
輸入(100万ドル) (前年比、%)	490,737 (0.3)	450,214 (▲8.3)	447,181 (▲0.7)	95,645 (▲14.1)	99,090 (▲12.5)	102,117 (▲15.5)	94,652 (▲19.5)	30,943 (▲21.6)	29,748 (▲30.4)	33,961 (▲3.9)	
貿易収支(100万ドル)	▲190,336	▲135,798	▲137,301	▲25,666	▲32,194	▲35,059	▲31,730	▲9,593	▲10,473	▲11,664	
経常収支(100万ドル)	▲87,843	▲32,358	▲26,731	▲625	▲6,128	▲8,214					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)	268,500	285,032	323,825	323,825	338,107	333,345		336,654	333,852		
レポレート(%)◎	7.50	8.00	7.50	7.50	7.25	6.75	6.75	6.75	6.75	6.75	6.75
為替(ルピー/ドル)*	54.41	60.47	61.15	62.25	63.46	64.98	65.92	65.04	66.14	66.58	67.30
株価指数◎	18,836	22,386	27,957	27,957	27,781	26,155	26,118	26,657	26,146	26,118	24,871

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。『乗用車販売台数』は、ユティリティ車、多目的車を含む。2012年度以降の『名目GDP』、『一人当たりGDP』、『実質GDP成長率』は

新(2011年度)基準且つ、市場価格ベース。

(資料)RBI、中央統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

中国の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	9,491	10,351	10,866								
人口(100万人)	1,360.7	1,367.8	1,374.6								
1人あたりGDP(ドル)	6,975	7,568	7,905								
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.7)	(7.3)	(6.9)	(7.0)	(7.0)	(6.9)	(6.8)				
工業生産(前年比、%)	(9.7)	(8.2)	(6.0)	(5.6)	(6.3)	(5.9)	(5.9)	(5.6)	(6.2)	(5.9)	
固定資産投資(前年比、%)	(19.6)	(15.7)	(10.0)	(13.5)	(11.4)	(10.3)	(10.0)	(10.2)	(10.2)	(10.0)	
社会消費財小売額(前年比、%)	(13.3)	(12.0)	(14.9)	(10.2)	(10.2)	(10.7)	(11.1)	(11.0)	(11.2)	(11.1)	
都市部登録失業率(%)	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1				
消費者物価上昇率(前年比、%)	(2.6)	(2.0)	(1.4)	(1.2)	(1.4)	(1.7)	(1.5)	(1.3)	(1.5)	(1.6)	
輸出(FOB)(億ドル) (前年比、%)	22,090 (7.9)	23,423 (6.1)	22,749 (▲2.8)	5,132 (4.5)	5,544 (▲2.9)	5,946 (▲6.3)	6,128 (▲5.1)	1,924 (▲7.0)	1,967 (▲7.0)	2,237 (▲1.6)	
輸入(CIF)(億ドル) (前年比、%)	19,500 (7.3)	19,592 (0.4)	16,820 (▲14.1)	3,910 (▲17.5)	4,189 (▲13.4)	4,337 (▲14.3)	4,384 (▲11.5)	1,311 (▲18.6)	1,430 (▲8.8)	1,643 (▲7.4)	
貿易収支(億ドル)	2,590	3,831	5,930	1,222	1,355	1,609	1,744	613	537	594	
経常収支(億ドル)	1,482	2,197		756	730	603					
外貨準備高(除く金)(億ドル)	38,396	38,592		37,447	37,090	35,293					
政策金利(%)◎	6.00	5.60	4.35	5.35	4.85	4.60	4.35	4.35	4.35	4.35	4.35
3ヵ月物金利(%)◎	5.56	5.14	3.09	4.90	3.23	3.15	3.09	3.04	3.05	3.09	3.10
為替(人民元/ドル)*	6.19	6.15	6.24	6.14	6.12	6.29	6.41	6.35	6.40	6.49	6.55
株価指数(上海総合)◎	2,116.0	3,234.7	3,539.2	3,747.9	4,277.2	3,052.8	3,539.2	3,382.6	3,445.4	3,539.2	2,737.6

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。『固定資産投資』は、年初末値。『政策金利』は「1年物貸出基準金利」。

(資料)中国国家统计局、税関総署、中国人民銀行統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

香港の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	276	291									
人口(100万人)	7.2	7.3									
1人あたりGDP(ドル)	38,271	40,099									
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.1)	(2.5)		(2.4)	(2.8)	(2.3)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.1)	(▲0.4)		(▲1.6)	(▲1.2)	(▲2.0)					
小売売上高指数(前年比、%)	(11.0)	(▲0.2)	(▲3.7)	(▲2.3)	(▲0.9)	(▲4.8)	(▲6.6)	(▲3.0)	(▲7.8)	(▲8.5)	
失業率(%)	(3.4)	(3.3)	(3.3)	(3.3)	(3.2)	(3.3)	(3.3)	(3.3)	(3.3)	(3.3)	
消費者物価指数(前年比、%)	(4.3)	(4.4)	(3.0)	(4.4)	(3.0)	(2.3)	(2.4)	(2.4)	(2.4)	(2.5)	
輸出(FOB)(億ドル)	4,590	4,737	4,651	1,078	1,140	1,219	1,218	412	407	399	
(前年比、%)	(3.6)	(3.2)	(▲1.8)	(2.3)	(▲2.0)	(▲4.1)	(▲2.8)	(▲3.7)	(▲3.5)	(▲1.1)	
うち、再輸出(億ドル)	4,519	4,665	4,590	1,064	1,123	1,204	1,204	408	402	394	
(前年比、%)	(3.8)	(3.2)	(▲1.6)	(2.4)	(▲1.7)	(▲3.9)	(▲2.6)	(▲3.5)	(▲3.2)	(▲1.1)	
輸入(CIF)(億ドル)	5,236	5,441	5,220	1,232	1,301	1,335	1,358	451	450	458	
(前年比、%)	(3.8)	(3.9)	(▲4.1)	(1.4)	(▲3.2)	(▲6.7)	(▲7.1)	(▲8.5)	(▲8.1)	(▲4.6)	
貿易収支(億ドル)	▲646	▲705	▲569	▲154	▲161	▲116	▲140	▲38	▲43	▲59	
経常収支(億ドル)	41	36		▲1	3	63					
外貨準備高(除く金)(億\$)	3,111	3,284		3,321	3,407	3,457		3,570	3,557		
3ヵ月物金利(%)◎	0.38	0.38	0.39	0.39	0.39	0.40	0.39	0.38	0.37	0.39	0.69
為替(香港ドル/ドル)*	7.76	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.78
株価指数◎	23,306.4	23,605.0	21,914.4	24,900.9	26,250.0	20,846.3	21,914.4	22,640.0	21,996.4	21,914.4	19,683.1

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。輸出と再輸出の差額は地場輸出。

(資料)香港統計局、IMF統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

台湾の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	513	531	527								
人口(100万人)	23.3	23.4	23.5								
1人あたりGDP(ドル)	21,982	22,700	22,425								
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.2)	(3.9)	(0.9)	(4.0)	(0.6)	(▲0.6)	(▲0.3)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.7)	(6.4)	(▲1.7)	(5.8)	(▲1.1)	(▲4.6)	(▲5.8)	(▲6.3)	(▲4.9)	(▲6.2)	
失業率(%)	4.2	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	
消費者物価指数(前年比、%)	(0.8)	(1.2)	(▲0.3)	(▲0.6)	(▲0.7)	(▲0.3)	(0.3)	(0.3)	(0.5)	(0.1)	
輸出(FOB)(億ドル)	3,054	3,137	2,805	702	722	700	681	239	221	221	
(前年比、%)	(1.4)	(2.7)	(▲10.6)	(▲4.2)	(▲9.8)	(▲13.9)	(▲13.9)	(▲11.0)	(▲17.0)	(▲13.9)	
輸入(CIF)(億ドル)	2,699	2,740	2,289	568	598	572	551	178	194	179	
(前年比、%)	(▲0.2)	(1.5)	(▲16.5)	(▲15.0)	(▲14.9)	(▲19.4)	(▲16.4)	(▲20.0)	(▲13.7)	(▲15.6)	
貿易収支(億ドル)	355	397	515	134	123	128	130	61	27	42	
経常収支(億ドル)	553	654		220	164	197					
外貨準備高(除く金)(億\$)	4,117	4,141	4,214	4,098	4,164	4,216	4,214	4,220	4,199	4,214	
政策金利(%)◎	1.875	1.875	1.625	1.875	1.875	1.750	1.625	1.750	1.750	1.625	1.625
CP31-90日物金利(%)◎	0.64	0.68	0.43	0.63	0.61	0.53	0.43	0.49	0.45	0.43	
為替(台湾ドル/ドル)*	29.77	30.37	31.91	31.59	30.99	32.21	32.85	32.73	32.80	33.01	33.64
株価指数◎	8,611.5	9,307.3	8,338.1	9,586.4	9,323.0	8,181.2	8,338.1	8,554.3	8,320.6	8,338.1	8,145.2

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。輸出入は再輸出を含む金額。

(資料)台湾中央銀行、行政院主計総処、財政部統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

韓国の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/10	11	12	16/1
名目GDP(10億ドル)	1,306	1,410									
人口(100万人)	50.2	50.4									
1人あたりGDP(ドル)	25,998	27,971									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.9)	(3.3)	(2.6)	(2.5)	(2.2)	(2.7)	(3.0)				
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.7)	(0.1)	(▲0.7)	(▲0.9)	(▲1.4)	(▲0.3)	(▲0.1)	(1.9)	(▲0.1)	(▲1.9)	
実質小売指数(前年比、%)	(0.7)	(1.6)	(3.4)	(1.7)	(2.9)	(3.2)	(5.7)	(8.3)	(5.6)	(3.5)	
失業率(%)	(3.1)	(3.5)	(3.6)	(3.7)	(3.8)	(3.6)	(3.4)	(3.4)	(3.4)	(3.4)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.3)	(1.3)	(0.7)	(0.6)	(0.5)	(0.7)	(1.1)	(0.9)	(1.0)	(1.3)	(0.8)
輸出(FOB)(億ドル)	5,596	5,727	5,269	1,334	1,351	1,282	1,302	434	443	425	367
(前年比、%)	(2.1)	(2.3)	(▲8.0)	(▲3.0)	(▲7.3)	(▲9.5)	(▲11.9)	(▲16.0)	(▲4.9)	(▲14.1)	(▲18.6)
輸入(CIF)(億ドル)	5,156	5,255	4,365	1,117	1,105	1,080	1,063	368	341	355	314
(前年比、%)	(▲0.8)	(1.9)	(▲16.9)	(▲15.6)	(▲15.6)	(▲18.7)	(▲17.8)	(▲16.6)	(▲17.6)	(▲19.2)	(▲20.1)
貿易収支(億ドル)	440	472	904	217	246	202	239	66	103	70	53
経常収支(億ドル)	811	844	1,060	224	279	291	265	91	99	75	
外貨準備高(除く金)(億\$)	3,417	3,588	3,632	3,580	3,700	3,633	3,632	3,648	3,637	3,632	3,625
政策金利◎	2.50	2.00	1.50	1.75	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
CD3ヵ月物金利(%)◎	2.66	2.14	1.66	1.78	1.60	1.55	1.66	1.55	1.74	1.66	1.59
為替(ウォン/ドル)*	1,095.0	1,052.8	1,131.0	1,099.9	1,097.4	1,169.0	1,157.5	1,148.2	1,152.0	1,172.2	1,201.7
株価指数◎	2,011.3	1,915.6	1,961.3	2,041.0	2,074.2	1,962.8	1,961.3	2,029.5	1,992.0	1,961.3	1,912.1

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。

(資料)韓国中央銀行、国家統計局、産業通商資源部統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

カンボジアの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	10	10	11	13	14	15	17
人口 (100万人)	13.9	14.1	14.3	14.5	14.8	14.9	15.2
1人あたりGDP (ドル)	746	739	786	883	950	1,025	1,106
実質GDP成長率 (前年比、%)	(6.7)	(0.1)	(6.0)	(7.1)	(7.3)	(7.4)	(7.1)
消費者物価指数 (前年比、%)	(19.7)	(▲0.7)	(4.0)	(5.4)	(2.9)	(3.0)	(3.9)
経常収支 (100万ドル)	▲ 557	▲ 653	▲ 676	▲ 765	▲ 1,150	▲ 1,977	▲ 1,640
貿易収支 (100万ドル)	▲ 1,681	▲ 1,740	▲ 1,850	▲ 2,145	▲ 2,506	▲ 3,214	▲ 3,208
外貨準備高 (除く金) (100万 ^{ドル}) ◎	2,292	2,851	3,255	3,450	4,267	4,516	5,626
対外債務残高 (100万ドル) ◎	3,181	3,439	3,755	4,356	5,652	6,427	NA
為替 (リエル/ドル) *	4,054	4,139	4,185	4,059	4,033	4,027	4,038

ミャンマーの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	35	38	50	56	56	57	63
人口 (100万人)	NA	NA	49.6	50.1	50.7	51.2	51.5
1人あたりGDP (ドル)	705	772	998	1,118	1,100	1,112	1,228
実質GDP成長率 (前年比、%)	(10.3)	(10.6)	(9.6)	(5.6)	(7.3)	(8.4)	(8.7)
消費者物価指数 (前年比、%)	(17.9)	(1.5)	(7.7)	(5.0)	(1.5)	(5.5)	(5.5)
経常収支 (100万ドル)	1,262	1,093	1,963	▲ 1,601	▲ 1,205	▲ 779	▲ 1,624
貿易収支 (100万ドル)	2,236	3,406	2,448	101	▲ 92	▲ 2,556	▲ 4,110
外貨準備高 (除く金) (100万 ^{ドル}) ◎	3,717	5,252	5,717	7,004	6,964	NA	NA
対外債務残高 (100万ドル) ◎	7,454	7,625	8,189	8,371	8,271	7,367	NA
為替 (チャット/ドル) *	5.44	5.58	5.63	5.44	640.65	933.57	984.35

バングラデシュの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	92	102	115	124	129	154	173
人口 (100万人)	144.7	146.7	148.6	149.7	151.6	153.7	155.8
1人あたりGDP (ドル)	637	700	775	825	850	999	1,111
実質GDP成長率 (前年比、%)	(6.0)	(5.0)	(5.6)	(6.5)	(6.5)	(6.0)	(6.1)
消費者物価指数 (前年比、%)	(9.9)	(6.7)	(7.3)	(10.9)	(8.7)	(6.8)	(7.3)
経常収支 (100万ドル)	702	2,272	3,724	▲ 1,686	▲ 447	2,358	1,547
貿易収支 (100万ドル)	▲ 7,518	▲ 7,051	▲ 7,482	▲ 12,654	▲ 11,711	▲ 11,120	▲ 10,814
外貨準備高 (除く金) (100万 ^{ドル}) ◎	5,689	10,219	10,564	8,510	12,031	17,564	21,785
対外債務残高 (100万ドル) ◎	22,952	24,619	25,752	27,326	26,188	27,804	NA
為替 (タカ/ドル) *	68.60	69.04	69.65	74.15	81.86	78.10	77.64

パキスタンの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	147	153	167	204	207	212	236
人口 (100万人)	166.4	169.9	173.5	177.1	180.7	184.4	188.0
1人あたりGDP (ドル)	908	951	1,006	1,195	1,188	1,194	1,319
実質GDP成長率 (前年比、%)	(5.0)	(0.4)	(2.6)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(4.0)
消費者物価指数 (前年比、%)	(12.0)	(17.0)	(10.1)	(13.7)	(11.0)	(7.4)	(8.6)
経常収支 (100万ドル)	▲ 13,874	▲ 9,261	▲ 3,946	214	▲ 4,658	▲ 2,496	▲ 3,130
貿易収支 (100万ドル)	▲ 18,046	▲ 16,149	▲ 14,908	▲ 15,125	▲ 20,162	▲ 19,418	▲ 20,248
外貨準備高 (除く金) (100万 ^{ドル}) ◎	7,194	11,318	14,346	14,528	10,242	5,156	11,807
対外債務残高 (100万ドル) ◎	49,524	56,340	61,960	63,989	60,938	56,461	NA
為替 (パキスタンルピー/ドル) *	70.41	81.71	85.19	86.34	93.40	101.63	101.10

(注) *印：期中平均値、◎印：期末値。貿易収支は国際収支ベース。

ミャンマーの名目GDP、実質GDP成長率、一人あたりGDP、対外債務残高は年度(4月～翌年3月)ベース。

為替相場は2011年までSDRに対する固定相場制の下での公定レート、2012年4月に管理フロート制へ移行。

なお、名目GDPおよび一人あたりGDPは、チャット建て公表値をIMF経済見通し上の市場レートでドル換算したもの。

バングラデシュとパキスタンの名目GDP、1人あたりGDP、実質GDP成長率、経常収支、貿易収支は年度(前年7月～6月)ベース。

(資料) ADB、IMFより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

■ アジア主要国・地域の主要経済指標比較

1. 名目GDP（億ドル）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	7,559	2,550	1,996	2,364	3,409	1,160	15,910	60,397	2,287	4,483	10,945
2011	8,929	2,980	2,241	2,754	3,706	1,355	17,125	74,925	2,485	4,870	12,025
2012	9,181	3,144	2,501	2,899	3,975	1,558	17,025	84,616	2,626	4,970	12,228
2013	9,133	3,233	2,719	3,022	4,202	1,712	17,333	94,907	2,757	5,132	13,056
2014	8,885	3,381	2,848	3,079	4,048	1,862	19,140	103,511	2,909	5,312	14,104
2015			2,920			1,934		108,665		5,268	

2. 人口（100万人）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	237.6	28.6	94.0	5.1	63.9	86.9	1,186.0	1,340.9	7.0	23.1	49.4
2011	242.0	29.1	94.8	5.2	64.1	87.9	1,220.0	1,347.4	7.1	23.2	49.8
2012	245.4	29.5	96.5	5.3	64.5	88.8	1,235.0	1,354.0	7.2	23.3	50.0
2013	248.8	29.9	98.2	5.4	64.8	89.8	1,251.0	1,360.7	7.2	23.3	50.2
2014	252.2	30.6	99.9	5.5	65.1	90.7	1,267.0	1,367.8	7.3	23.4	50.4
2015	255.5	31.0	101.6	5.5	65.7			1,374.6		23.5	

3. 1人当たりGDP（ドル）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	3,181	8,920	2,123	46,569	5,337	1,334	1,341	4,504	32,489	19,374	22,151
2011	3,690	10,252	2,364	53,122	5,784	1,543	1,404	5,561	35,042	21,002	24,156
2012	3,741	10,653	2,591	54,578	6,166	1,755	1,379	6,249	36,647	21,359	24,454
2013	3,670	10,809	2,769	55,980	6,485	1,908	1,386	6,975	38,271	21,982	25,998
2014	3,523	11,050	2,851	56,287	6,216	2,052	1,511	7,568	40,099	22,700	27,971
2015			2,875					7,905		22,453	

4. 実質GDP成長率（前年比、%）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	6.2	7.4	7.6	15.2	7.5	6.4	8.9	10.6	6.8	10.6	6.5
2011	6.2	5.3	3.7	6.2	0.8	6.2	6.7	9.5	4.8	3.8	3.7
2012	6.0	5.5	6.7	3.4	7.3	5.3	5.1	7.7	1.7	2.1	2.3
2013	5.6	4.7	7.1	4.4	2.8	5.4	6.9	7.7	3.1	2.2	2.9
2014	5.0	6.0	6.1	2.9	0.9	6.0	7.3	7.3	2.5	3.9	3.3
2015			5.8	2.1		6.7		6.9		0.9	2.6
2014/03	5.1	6.3	5.6	4.6	▲ 0.4	5.1	6.7	7.3	2.7	3.7	3.9
2014/06	5.0	6.5	6.7	2.3	0.9	5.3	6.7	7.4	2.0	4.1	3.4
2014/09	4.9	5.6	5.5	2.8	1.0	6.1	8.4	7.1	2.9	4.3	3.3
2014/12	5.0	5.7	6.6	2.1	2.1	7.0	6.6	7.2	2.4	3.6	2.7
2015/03	4.7	5.6	5.0	2.7	3.0	6.1	7.5	7.0	2.4	4.0	2.5
2015/06	4.7	4.9	5.8	2.0	2.8	6.5	7.0	7.0	2.8	0.6	2.2
2015/09	4.7	4.7	6.1	1.8	2.9	6.8	7.4	6.9	2.3	▲ 0.6	2.7
2015/12			6.3	2.0		7.0		6.8		▲ 0.3	3.0

5. 消費者物価上昇率（前年比、%）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	5.1	1.7	3.8	2.8	3.3	9.2	10.5	3.3	2.3	1.0	2.9
2011	5.3	3.2	4.7	5.2	3.8	18.7	8.6	5.4	5.3	1.4	4.0
2012	4.0	1.7	3.2	4.6	3.0	9.1	9.9	2.6	4.1	1.9	2.2
2013	6.4	2.1	2.9	2.4	2.2	6.6	9.4	2.6	4.3	0.8	1.3
2014	6.4	3.1	4.2	1.0	1.9	4.1	6.0	2.0	4.4	1.2	1.3
2015	6.4	2.1	1.4	▲ 0.5	▲ 0.9	0.6		1.4	3.0	▲ 0.3	0.7

（注）インドは年度（4月～翌年3月）ベース。インドの2012年度以降の実質GDP成長率は新基準且つ、市場価格ベース。

2011年度以前は、旧（2004年度）基準且つ、要素価格ベース。

（資料）各国統計、IMF、CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

6. 外貨準備高（除く金、億ドル）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	929	1,049	554	2,255	1,675	125	2,753	28,661	2,686	3,768	2,915
2011	1,065	1,318	673	2,375	1,674	135	2,713	32,028	2,853	3,805	3,043
2012	1,088	1,378	735	2,591	1,733	256	2,706	33,311	3,173	3,979	3,232
2013	964	1,334	757	2,729	1,613	259	2,765	38,396	3,111	4,117	3,417
2014	1,088	1,146	721	2,566	1,513	342	3,035	38,592	3,284	4,141	3,588
2015	1,033	940	740		1,513					4,214	3,632
15/2	1,125	1,090	732	2,505	1,509	373	3,193	38,169	3,324	4,129	3,575
3	1,086	1,037	730	2,482	1,505	369	3,238	37,447	3,321	4,098	3,580
4	1,079	1,045	734	2,517	1,552	365	3,337	37,635	3,431	4,132	3,651
5	1,078	1,050	729	2,500	1,526	372	3,343	37,263	3,448	4,139	3,667
6	1,051	1,041	733	2,531	1,545	373	3,381	37,090	3,407	4,164	3,700
7	1,048	952	735	2,499	1,515	369	3,363	36,661	3,398	4,171	3,660
8	1,025	933	731	2,502	1,502	329	3,346	35,726	3,344	4,201	3,631
9	989	920	735	2,514	1,500	307	3,333	35,293	3,457	4,216	3,633
10	978	927	739	2,496	1,526		3,367		3,570	4,220	3,648
11	976	932	735	2,469	1,504		3,339		3,557	4,199	3,637
12	1,033	940	740		1,513					4,214	3,632
16/1											3,625

7. 対外債務残高（億ドル、年末値）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	1,808	1,349	736	0	1,006	449	3,060	5,489	8,797	1,016	3,559
2011	2,254	1,758	756	0	1,043	531	3,452	6,950	9,827	1,225	4,000
2012	2,524	1,951	799	0	1,307	591	3,940	7,370	10,297	1,308	4,089
2013	2,661	2,212	785	0	1,419	655	4,269	8,632	11,603	1,701	4,235
2014	2,939	2,285	777	0	1,401	719	4,586	8,955	13,011	1,779	4,244
2015											

8. 対ドル為替相場（期中平均）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	9,084	3,219	45.1	1.363	31.7	19,138	45.7	6.77	7.77	31.6	1,156
2011	8,772	3,059	43.3	1.257	30.5	20,663	46.7	6.44	7.78	29.5	1,108
2012	9,388	3,089	42.2	1.249	31.1	20,873	53.5	6.31	7.76	29.6	1,127
2013	10,438	3,150	42.5	1.251	30.7	21,030	58.6	6.19	7.76	29.8	1,095
2014	11,881	3,273	44.4	1.267	32.5	21,199	61.0	6.15	7.75	30.4	1,053
2015	13,398	3,907	45.5	1.375	34.3	21,923	64.2	6.24	7.75	31.9	1,131

（資料）各国統計、IMF、世界銀行、bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：経済調査室 土屋 祐真 (yuuma_tsuchiya@mufg.jp)
 シンガポール駐在 中村 逸人 (hayato_nakamura@sg.mufg.jp)
 剣持 未来子 (kemmochi@sg.mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページ <http://www.bk.mufg.jp> でもご覧いただけます。